|  |  |
| --- | --- |
| **９**（月） | みとがあなたがたにありますように |
|  | **エペ1章1～2節**　たちのなるとイエス・キリストから、みとがあなたがたにありますように。(2) |
|  | がぎればぎるほど、わざわいのになっていきます。わりのにはぎがこり、\*とがあり、しみにってにのがます。Remnantは、なをけて、なとえをりましょう。どのようにすればいのでしょうか。１つ、ののやぐらをちすのみのをりましょう。はをれたとサタン、のにったたちをキリストによってうみをえてくださいました。このキリストのみによって、たちのにあるすべてのサタンのやぐらをちすのです。２つ、のわざわいをめるののをりましょう。イエスがオリーブでののことを40されました。Remnantは、イエスがくださったことをって、りでのやぐらをてましょう。また、のにしたがって、にのしるべをてます。３つ、のみとので、ほかのをしましょう。Remnantはをらないのをいて、そのにのみとのがえられるようにりましょう。Remnantは、のくべきみのとの、をかすことができるのをりでわいましょう。\*：がよくできないので、がりなくてえることです。 |
|  | 、みと、のをわいますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.09.29.1部 |

|  |  |
| --- | --- |
| **10**（火） | のがえられるからばれた |
|  | **エペ1章3～14節**　すなわちは、のがえられるから、このにあってたちをび、になる、のないにしようとされたのです。(4) |
|  | はのがえられるからRemnantをんでおられました。のどもであるたちにをしないようにわれます。たちのにのやぐらがてられるからです。は、るにのがむとわれました。それでは、たちにどんながあるのでしょうか。１つ、エペソ１３、５、６のです。はにあるすべてのをえるためにRemnantをばれました。また、のどもになり、のをわすためにばれました。２つ、エペソ1８、９、10のです。はすべてのとをあふれるようにえるためにRemnantをばれました。よりなことは、そのみこころのをらせて、とにあるのものがキリストにあって、つにめられることをえようとたちをんでくださいました。３つ、エペソ111～14のです。はRemnantををけぐとして、Remnantにによってをされました。がRemnantをんでえてくださったをとしてけてりましょう。ずさんがいるにのがみます。 |
|  | 、がをばれたをって、そのをりでわいますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.09.29.2部 |

|  |  |
| --- | --- |
| **11**（水） | のわざわいめる |
|  | **ロマ16章11節**　のヘロディオンによろしく。ナルキソののにあるによろしく。 |
|  | のすべてのみことばは、ただキリストのをえています。は、ただキリストのをっているRemnantをして、、なわざわいをめてくださいます。Remnantがしてはならないことはでしょうか。１つ、210に、カルバリの、オリーブのをってマルコのののをしました。ローマからたプリスカがこのをしたのです。２つ、パウロをしてこったのきです。パウロは、をじるをしたであったのに、キリストにいました。その、くごとにイエスがキリストであることと、のについてにべえました。237かと５がいるローマまでってえました。３つ、をっているひとりをしてのきがこります。ローマ1611にてきたナルキソのにあるがそのようなでした。ナルキソは、ローマのをまかされた\*でした。のをるひとりを、だれもすることはできません。Remnantはなのだけって、と、なわざわいをめるようにりましょう。なのをって、りでのをるが、ひとりいればいのです。\*：なにしてとえをえるのにしているです。 |
|  | 、なとのをる、わざわいをめるひとりになりますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.10.06.1部 |

|  |  |
| --- | --- |
| **12**（木） | なの/につ |
|  | **エペ6章18節**　あらゆるりといによって、どんなときにもによってりなさい。そのために、をましていて、すべてののために、のりをくしてりなさい。 |
|  | のみことばでされたRemnantがにけばがれます。のとののことがしげられます。Remnantがにくにっておくみことばはでしょうか。１つ、のはがないのです。や、のやえはがあるので、ののわざわいをめることはできません。Remnantのには、237か５がちってくるえがるでしょう。このえは、だれもめることができないのみこころです。２つ、Remnantはにつになります。サタンはがないをします。われたのどもは、いのとりのえの、しくしいことにつの、すべてののろいをされたのしの、いつもまでいてくださるきのをちましょう。サタンは、だれかをいくそうとしっているので、のをらずいうことがないようにしましょう。すべてのいいをにゆだねればいのです。そして、Remnantはしてください。にはいのかぶと、そして、のて、の、みことばの、のでするのです。にのをしげるRemnantのえをけましょう。 |
|  | 、のをってにつRemnantになりますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.03.26.237火曜弟子訓練1講(現場福音メッセージ60、61課) |

|  |  |
| --- | --- |
| **13**（金） | のをする |
|  | **創45章1～8節**　をここにったことで、、をめたりをめたりしないでください。はあなたがたよりにをわし、いのちをうようにしてくださいました。(5) |
|  | Remnantは、CVDIPとがくださったやぐらをかにってのにてきましょう。これをしてサミットといます。にはサミットではないのですが、サミットをかすをけたのです。ヨセフはどのようにこのえをけたのでしょうか。１つ、ヨセフのはのでした。3711ののをっていました。ヨセフはすでにサミットのにいました。それゆえ、どこにっても、そのを24、25、でわいました。はこのようなヨセフをして、をしげられました。２つ、ヨセフにがしげられるがありました。をいてをくの、そののせいで、ねたまれて、しみにあう、をけてつ、しみのがありました。しかし、ヨセフはそのでれませんでした。３つ、ヨセフにはがともにおられるがありました。そのをもました。ヨセフがになったとき、たちがねてきました。ヨセフはたちをまずに、がなさったことだとたちをめました。これがです。Remnantはわざわいのので、がにえられたなをつけましょう。 |
|  | 、のなをくRemnantになりますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.03.26.237火曜弟子訓練2講(現場福音メッセージ62課) |

|  |  |
| --- | --- |
| **14**（土） | なぜするのか/のがくく |
|  | **マコ16章17～18節**　じるにはのようなしるしがいます。すなわち、わたしのによってをいし、しいことばでり、そのでをつかみ、たとえをんでもしてをけず、にをけばやされます。 |
|  | はのかさをしてのをわしてくださいます。Remnantがしくしなければならないことがあります。１つ、をするです。はサタンのをいて、のをむようにするのです。そして、のをさせるのです。のにがえられています。このをらないので、にわざわいがんでいます。たちはしくられたとして、キリストのでくのをさせるです。たちはりとして、このをらせるのです。そうでなければ、わざわいです。をずかしくうなら、といがそのをじます。２つ、イエスはたちがただをければ、キリストのになるとわれました。そして、のわりまでのでいつもともにおられます。イエスは、するたちとともにくとしてくださいました。いのがあって、されたをするは、がいられるしかありません。のとなく、ただキリストだけるRemnantになりましょう。のはがめておられます。のをえるRemnantになりましょう。 |
|  | 、のをってのきをかるRemnantになりますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.03.26.237火曜弟子訓練3講(現場福音メッセージ63、64課) |